

ふれあいのまち

小正市民センター地区まちづくり推進協議会

2024 3.1

小正コミュニティー

編集 新聞部会
事務局 小正市民センター
☎ 21-8000

No. 89 発行部数 9700部



活動報告 秋祭り

とうそう中がたのしかったよ
お父さんとおねえちゃんといっしょに、秋まつりに行きました。秋まつりのお手紙に、とうそう中がやると書いてあったので、ずっと楽しみにしていました。
そして、さんかできるけんをもって行きました。ついたら、サンダラスをかけたハンターがたくさんいてびっくりしました。ほんものみたいだと思いました。はしるときは、ハンターがこわくてドキドキしました。だから、はやくはしりました。そして、つかまらずにゴールできました。はしたあとに3色のペンをもらえてすごうれしかったです。また、とうそう中をやってみみたいです。

とうそう中がたのしかったよ
いなざわひがし小学校でとうそうちゅうをやりました。わたしは、レベル一をえらびました。みんなは、それぞれのレベルをえらんでいます。スタートして、五びょうしたらハンターがはしってきました。それまでにミッションをクリアしてはしります。はやくボールをかごにいれることができたのでハンターにかまりませんでした。うれしかったです。



逃走中

楽しかった逃走中
ぼくは、逃走中に参加しました。まず、ボールひろいのミッションがありました。そして五十メートル走り切れたら成功です。ハンターは五秒かぞえたら放出です。
そして、景品はボールペンでした。やってみても楽しかったのでまた今度、逃走中がみたいと思いました。

SOLAEから見た小正地区

情報広報部会 小崎俊平



情報広報部会では、半年ごとに地域の情報を発信するため「ふれあいのまち」を発行しています。
地域の情報をさらに把握するため稲沢ビルシステム製作所内にある試験塔の「SOLAE」を見学してきました。
最初にエレベーターやエスカレーター、構造や歴史について講義を受け、特に世界初の曲線を描くように動くスパイラルエスカレーターの高さと試験塔の最上階へ行くエレベーターの動いているのかを疑うほどの静かさに大変驚きました。
その後、展望室から見た小正市民センター地区は、北側の田園風景と南側の街並みのコントラストがはつきりしており、長年この地区に住んでいますがこの地区の現状と本地区にある企業の技術力の高さを確認できた良い機会となりました。

2学期がんばったこと
大塚小一年 うかいみゆう
わたしが、二がっきがんばったことは、うんどうかいとじきゅうそつたいかいです。うんどうかい、ダンスをおぼえるのがむずかしかったです。でもたくさんれんしゅうしたらうまくなりました。みんなとダンスできてたのしかったです。
じきゅうそつたいかい、はしるれんしゅうをしました。ならいごとにくときは、はじめていききました。はじめのじきゅうそつたいかい、とてもさんちようしました。でも、みんながおうえんしてくれたので、さいごまではしれてうれしかったです。

不思議なハムスター スキニーハムスター
小正小 六年 丹下誠也
ぼくは、スキニーハムスターというちよつと不思議なハムスターを飼っています。名前はムッチーといってムチムチな体をしているからムッチーと名付けました。そして、なんといっても不思議なのは成長しても毛がはえてこないことです。このハムスターは毛が成長してもはえてこない種類なので、さわってみるとカイクミたいにあつたかくて見た目が小さなブタみたいなので、とってもかわいいです。
じゅみようが二年と短いので最高齢まで長生きしてほしいです。

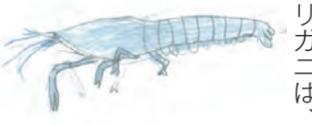


編集後記
今年度も皆様のご協力のおかげで、無事発行することができました。ありがとうございました。
【連絡先】
事務局・小正市民センター
TEL 21-8000 FAX 32-1004

楽しいソフトボール
わたしは、休みの日にソフトボールをやっています。とくに一番好きなのは、バッティングです。バッティングが好きなのは、スイングをしたり、うったりすることが楽しくて毎日れんしゅうしています。れんしゅうの時にコーチにたくさんアドバイスをもらって、前よりボールをうまくあてるようになりました。
これからもたくさんれんしゅうしてうまくなりたいです。



ぼくの家の青いザリガニ
小正小 三年 丹下詢也
ぼくは、ひいおばあちゃんちのちかくのようすいろで青いザリガニをみつめました。
その青いザリガニを見てめずらしいとおもったからかうことにしました。まだあかちゃんザリガニは、ごはんをいっぱい食べて、大きくそだつてほしいとおもいます。
これからも水かえやおせわをして、だいにそだてていきたいとおもいます。



「ボランティアで感じたこと」

稲沢中 二年 平岡 桃愛

私はボランティア活動に参加して、思ったことが二つあります。一つ目はコミュニケーションの大切さです。私はベタンクという競技を担当しました。ボールを渡すときに「頑張つてね！」と声かけをしたら、笑顔で「はい！」と言ってもらえて本当に嬉しかったです。その声掛けが人と人のコミュニケーションをとる大切な役割をしているのだと思いました。二つ目は笑顔でいることの大切さです。参加者の方が笑顔で楽しく競技ができるように、まず私が笑顔でボールを渡したら笑顔で受け取ってくれました。



「初めてのボランティア」

稲沢中 二年 星野 心温

私はボランティア活動に参加するのは今回が初めてで少し不安でしたが、たくさんの人と関わり、とても良い経験になりました。私はグラウンドゴルフの手伝いを担当しました。空き時間に私も体験させていただき、コツをつかんだので、参加者の方からアドバイスをするなど、交流することができました。参加者のみなさんがとても楽しそうに歩いてきたり、成功して高得点をとった方がいると、周りの方々も一緒に喜んでいたりする姿がとても印象的でした。地域のつながりの温かさを感じました。



「いなざわひがし小学校クイズ」

小正小 一年 ふじ本 さやか

12月3日、小正ちくのウォーキング大会にさんかしました。おかあさんとおにいちゃん3人でいきました。このウォーキング大会は、ちずを見ながら、スタートからゴールまであるきます。とちゅうで、クイズやゲームをやりました。わたしが一ばんのしかつたのは、クイズです。ちずを見ながらいなざわひがし小学校へいきました。そこで、この小学校がなんねんまえにできたかのクイズがありました。わたしのおばあちゃんがかよっていた小学校なので、こたえはすぐにわかりました。うれしかったです。



「ボランティアをして感じたこと」

稲沢中 二年 池野 花凜

私はこの地域のボランティアでイベントに参加してくれた人の心を第一に考えることを大切にして参加しました。当日は親水公園でゲームの手伝いをしました。幼い子からご年配の方までが参加していただき、年齢に合わせた対応を学ぶいい機会となりました。今後も進んでボランティア活動などに参加し、いつもお世話になっている稲沢市に少しでも貢献したいと思えます。今回は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

「地域のために私ができること」

稲沢中 二年 北川 実穂

ボランティア活動では、ウォーキング大会のチェックポイントで行われた「ベタンク」というミニゲームを盛り上げるために、参加者を応援したり、ほめたりするという役割が与えられました。参加者のみなさんは老若男女いらっしやいましたが、全員が笑顔で楽しそうに参加していました。そんな参加者の方々を見てこのボランティア活動がだんだんと楽しくなり、人をほめることが苦手な私も自然と応援したりほめたりすることができるようになりました。参加していた小さな女の子が「楽しかったよ、ありがとう！」と言ってくれたときは、特に嬉しかったです。今回のボランティア活動を通し、地域の絆や、地域の方々のウォーキング大会にける思いに触れることができ、とてもいい経験になりました。これからも地域の活性化に貢献するために、様々な活動に積極的に参加していきたいです。



「地域の方々の温かさ」

稲沢中 二年 米 田 龍慶

12月3日に行われた小正地区ウォーキング大会に参加してきました。向かうときはとても寒かったけれど、地域の方々もずっと早くから準備をしてみえました。最初はどんなことをすればいいのか、地域の方と仲良くできるか不安と緊張でいっぱいでした。しかし、地域の方が話しかけてくださって最後まで楽しく行うことができました。私はスタート地点のゲームの輪投げを担当しました。老若男女50チーム近くが輪投げのコーナーに来るため、1チームごとに理解していただけるように、話し方を工夫するなど何かと意識しましたが困っていません。しかし、そのブースを担当する方にコツを教えていただき、後半はとてもスムーズに行うことができました。他にも多くの体験をすることができて私にとって良い経験となりました。これからも地域のために活動していきたいです。

「ありがとうの温かさ」

稲沢中 二年 三輪 啓太

12月3日、僕は冬の始まりを告げる風に包まれてウォーキング大会のボランティアに参加しました。中学生ボランティアは七人と少なく、多くの人に対応できるか不安と緊張でいっぱいでした。そんな思いで参加した僕は、地域の方々やウォーキング大会に参加した人に教えていただき、不安はいつの間にか忘れていました。僕はウォーキング大会の途中で行われるベタンクという競技のボール拾いを行いました。ここではウォーキング大会に参加した人達が楽しく取り組んでいたことがとても印象的でした。また、地域の方々がボールを拾ったときに「ありがとう」と言ってくれたり、とてもあたたかい気持ちになったことを今でも鮮明に覚えています。今回の活動を通し、改めてこのような行事を支えてくださっている地域の方々に感謝の気持ちが溢れる思いです。僕も、人のために頑張れるよう日々成長していきます。



「ボランティアをして感じたこと」

稲沢中 二年 原 一貴

今回のボランティア活動で私は、地域の催しの裏方の大変さを身に染みて感じるようになりました。理由としては、今回の小正地区ウォーキング大会では、輪投げやグラウンドゴルフなどのミニゲームを、難易度を年齢ごとに調整することや、景品を並べるなど、普段はすることがないことを体験させていただき、裏方の大変さをよく感じられたからです。また、やりがいを感じたのは、ミニゲームの一つである輪投げの運営の手伝いをしたことです。ここには、50ほどのグループの人々が挑戦すると聞き、すごく驚きました。多くの人にルールを知ってもらうために話し方を工夫したり、難易度を変えたりするなど、大変でしたが、地域の子供たちや大人の人々も楽しそうに挑戦されていたので、やりがいや、うれしさと同時にウォーキング大会などの催しが地域を盛り上げていると改めて思いました。今回のボランティアで、色々なことを新しい視点で見ることができ、いい体験になりました。